



データでみる福島再生

最近の動き

○特定復興再生拠点区域整備の進捗状況

- ・特定復興再生拠点区域における除染等工事全体の進捗は約71%です。

○福島県内の除染仮置場等の状況

- ・仮置場等総数1,371箇所のうち、380箇所です除去土壌等を保管中、991箇所です搬出が完了し、644箇所の仮置場で原状回復が完了しました。

○中間貯蔵施設の整備の現状

- ・除去土壌の分別処理を行い、1月末時点で、約666.8万 m^3 (輸送量ベース) の土壌を土壌貯蔵施設に貯蔵しました。
- ・廃棄物の焼却及び焼却灰の灰処理を行い、1月末時点で、灰処理ばいじんを封入した鋼製角形容器4,162個を廃棄物貯蔵施設に貯蔵しました。

○中間貯蔵施設への除去土壌等の輸送の進捗状況

- ・2021年1月末時点で、累積約1,038万 m^3 (全体の約74.1%) の除去土壌等を中間貯蔵施設へ輸送しました。

○中間貯蔵施設用地の状況

- ・用地取得については、1月末時点で契約者数1,787人、面積約1,205haについて契約しております。

○国直轄による対策地域内廃棄物等の処理進捗状況

- ・災害廃棄物等の仮置場への搬入については、12月末時点で、約293万トンの搬入を完了しました (うち、約51万トンが焼却処理済、約184万トンが再生利用済)。
- ・被災家屋等について、12月末時点で、約17,000件の解体撤去申請を受付済みであり、約16,200件を解体撤去済みです。

○国直轄による対策地域内における仮設焼却施設の設置状況

- ・12月末時点で、約125万トン(除染廃棄物を含む)*****を各仮設焼却施設で処理しました。

*****仮設焼却施設での処理済量を訂正いたしました。(訂正日:令和4年1月12日)

○特定廃棄物埋立処分施設への搬入状況

- ・1月末時点で、163,017袋を特定廃棄物埋立処分施設へ搬入しました。

○**放射線に関するリスクコミュニケーション活動状況（1月実施）※**

- ・相談員支援センターにおいて、専門家派遣を1回、住民セミナーを3回実施しました。
- ・環境再生プラザにおいて、専門家派遣を4件、移動展示を2件(31日) 実施しました。
- ・内部被ばく検査(WBC)については、実施はありませんでした。
- ・ガンマカメラを活用し、仮置場の原状回復などの検証を14台日実施しました。

※いずれも、新型コロナウイルス感染拡大防止策を講じて実施しました。

※なお、新型コロナウイルス感染拡大による緊急事態宣言発令により、予定されていた活動の一部が延期・中止となりました。今後の開催に向けて調整等を進めています。

○**帰還困難区域等における鳥獣の捕獲状況**

- ・今年度の捕獲数は、1月末現在でイノシシ2,128頭、アライグマ386頭、ハクビシン88頭となっています。